びわこ学園
後援会ニュース
for a bright tomorrow

No. 125 2022年７月１日発行
びわこ学園後援会事務局
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜978-2
びわこ学園医療福祉センター野洲内
TEL(077)587-1144 FAX(077)587-4211
ホームページ：http://www.biwakogakuen.or.jp
発行責任者 島田 司巳
編集責任者 豊口 みか

冊子「『熱願冷諦』岡崎英彦年譜及び著作目録」の執筆を終えて

遠藤 六朗（元びわこ学園職員）

2015（H27）年秋、びわこ学園から岡崎先生の資料整理を手伝ってもらえないかと声を掛けられた。びわこ学園を定年退職し、その後人を介してある大学にお世話になり、その大学も最終講義の年度であった。私自身次に何をするか思案していた折、声を掛けていただき、再びのびわこ学園での仕事がうれしかった。

2016（H28）～2018（H30）年度の３年間、著作収集とその読み込み、目録作成が中心であった。その３年間の成果は、2017（H29）年岡崎先生没後30年記念「岡崎英彦集―本人さんはどう思てはるんやろ―」の発刊、2018（H30）年５つのテーマでびわこ学園各施設を巡回展示した「岡崎英彦展」とリーフレットの発行、それに「びわこ学園だより」に岡崎先生の思想の一端を連載させていただいた。展示とリーフレットはびわこ学園HPにアップ、「びわこ学園だより」（128～130号）は、本冊子「熱願冷諦」に再録している。

2019（R1）年以降も岡崎先生の著作資料の収集、年譜事項の整理を継続、現在に至っている。

これには、大木会の一碧文庫（糸賀一雄資料館）から協力いただいたことが大きかった。とりわけ大津南郷時代の近江学園初期の資料がもたらされた。そのきっかけは大木会が主宰する青山塾で私が「岡崎英彦 実践と思想」の講義を担当したことからである。青山塾は2016（H28）年に起きた相模原事件や障害福祉思想希薄化の懸念を契機に、近江学園創設の糸賀一雄、池田太郎、田村一二の３人に岡崎英彦を加え、この「３＋１」を今の時代に伝え今後にどう生かすか、そのために設けた大木会の私塾である。

また、大津にある人間発達研究所田中昌人・杉恵夫妻アーカイブズから1990（H2）年刊行の「岡崎英彦著作集」（医療図書出版）編集作業資料の提供で、著作集編集過程をみることができた。

さらに何よりも大きかったことは、ご遺族から岡崎先生の日記を特別に拝読させていただき、今まで知られていなかった知見を加えることができたことであった。

こうして「年譜及び著作目録」の改訂版発行の目途がたってきた。実は、私は「岡崎英彦著作集」巻末の「年譜著作目録」の執筆を担当したが、目立つ空白や校正不足等で読み返すたびに赤面冷汗し、その改訂を念願していた。今回、岡崎先生生誕100年記念事業の一環として冊子「熱願冷諦」の発行が実現し、私にとっても何よりの喜びである。

それでは岡崎思想とはいったい何か。岡崎先生は自身の考えをまとめることなく亡くなった。したがって、残された著作や講演録等も含めて一つひとつを読み解き、それを繋ぎながら、そこから岡崎先生の思想を紡いでいくしかない。その中でとらえられたのが、岡崎先生の「本人さんはどう思てはるんやろ」の基底にある「エモーショナルなもの」である。即ち「情動」。岡崎先生は「感情」という言葉を使っていない。むしろいのちをかきたて、こころ揺さぶられるという意味も込めて「エモーショナルなもの」としたのではなかろうか。つまり、重症心身障がいの人との関係において、お互いが「はだかのいのち」として関わるということ、それが情動であると言うのであった。

そしてこう言えるのではないか。岡崎先生はびわこ学園の展開の中で、糸賀福祉思想の核心にある生命を「エモーショナルなもの」としてとらえたということ。そういう点から、岡崎思想は糸賀思想を継承し展開したとみている。それは冊子「熱願冷諦」をみていただきたい。

しかし、冊子執筆を終えた今、私の中に「戦中派岡崎」がちらついて離れないでいる。戦中派、先の大戦で共に戦った多くの戦死者、その者の分まで「代り」に戦後を生きようとした者を言う。岡崎先生も軍医として看取った若い人たちの分を背負い生きようとした。それを岡崎先生の重症心身障がいの取りくみに重ねてみたい。「代わりに」、自身で生きる道を選択できない重症心身障がいの人たちの「代わり」にそれを選択するということはどういうことか、岡崎先生の晩年の著作にそれを無意識的に挿んでいるような箇所が一カ所ある。重症心身障がいの人の「代わり」に（を）する、あるいは「代わり」ができるということの資格は何か、その資格を有する社会はどういう社会かということである。岡崎先生の「本人さんはどう思てはるんやろ」はそう読みとれる。そして、「本人さん」との関係性は「エモーショナルなもの」、つまり「はだかのいのち」どうしの関わりである。そういう関わりでしかみえてこないものがあるのではないかとも言う。ここに岡崎先生の「本人さんはどう思てはるんやろ」は新たな意味をもってくる。

しかし今、岡崎先生の時代とは大きく様変わりした。そこからは岡崎先生の時代、さらに私自身が過ごしたびわこ学園の時代とは確かに変わった。そして断絶しているかのようにみえる。果たして断絶しているだろうか？自問してみる。いずれやはり原点からとらえなおす時が必ず来よう。岡崎英彦は、びわこ学園創設者糸賀一雄を継承し、「びわこ学園初代園長」としての、まさにその原点に位置している。

令和４年度　びわこ学園後援会書面総会報告

びわこ学園後援会事務局

昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、役員の皆様から書面により表決をいただきました。規約に定める表決の規定数を満たしており、承認いただきましたので、ここでご報告させていただきます。

【書面審議にて承認いただいた議案】

◇第１号議案　改選後のびわこ学園後援会役員について
◇第２号議案　令和３年度事業報告および決算報告について
◇第３号議案　令和４年度事業計画（案）および予算（案）について

【議案概要】

◇第１号議案：びわこ学園後援会の新規役員について

今回監事１名の交代についてご承認いただきました。これまでおつとめいただいた水口様にお礼申し上げますとともに新たにご就任いただいた朝雛様、どうぞよろしくお願いいたします。

◇第２号議案：「令和３年度事業報告」

令和３年度も新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染拡大防止対策により、皆様にお集まりいただくような機会の設定については自粛せざるを得ず、昨年に続き令和３年度においても当後援会として目立った活動ができない状況が続きました。

そのような中でしたが、会員の皆様からの会費やご支援いただいた皆様のご寄付を各所での暮らしや環境を充実させる補助やびわこ学園の事業補助、そして後援会ニュースの発行など「今できることをしっかりと継続していくこと」に取り組んできました。

１『びわこ学園後援会ニュース』の発行

今年度も年３回ニュースを発行し、びわこ学園を利用される方々の様子やコロナ禍でのびわこ学園の取り組みをお伝えすることができる貴重な機会であることを改めて感じました。

ニュース記事を書いていただいた皆様に改めてお礼申し上げますとともに、紙面を通じて多くの皆様と、それぞれの記事が共有できてよかったと振り返っています。

会員募集のお知らせと振込用紙については、引き続き毎回掲載し、広報と合わせて会員の募集にも活用できました。

目立った活動や後援会事業のアピールができていない状況ではありますが、ニュースの発行後、会費やご寄付を振り込んでいただくことが続き、皆様から応援していただいているという温かいお気持ちを感じることができる機会ともなりました。

２　各施設で開催されるイベントへの参加・助成

後援会ニュースにも掲載しましたが、新型コロナ禍であっても感染拡大防止対策を実施しながら職員の皆様の創意工夫により、医療福祉センター野洲夏祭り（No.123掲載）、医療福祉センター草津秋祭り・医療福祉センター野洲学園祭・知的障害児者地域生活支援センターおまつりはうす（No.124掲載）、が開催されたことに対して助成しました。

（各所のイベント助成に対するお礼から）

【医療福祉センター野洲夏祭り】

昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症対策で後援会役員さんにお手伝いいただけませんでしたが、２度目の「病棟での開催」ということで去年の反省を生かした、また今年は何といっても「JERRYBEANS」さんのコンサートが実現したこともあって、より皆が笑顔になれる夏祭りになりました。会えずとも陰から支えてくださっている皆様に感謝しております。

【医療福祉センター野洲学園祭】

感染症対策の下で古墳広場では、「HAMORI-BE」さんのコンサートが２年ぶりに行われました。童謡が大好きな利用者さんたちはうっとりと瞳を閉じたり、思わず声を出して笑ったりと満喫されているようでした。今回も後援会をはじめ、ボランティアさんやご家

族の皆様に来ていただくことは叶いませんでしたが、皆さまのお心遣いに感謝しております。

【知的障害児者地域生活支援センター　おまつりはうす】

今年度はコロナ禍の中で工夫を凝らし、11月１日～11月５日まで「やまびこ総合支援センター」館内で「おまつりはうす」を開催しました。自分の顔がさかなになって泳ぐ様子をスクリーンに映し出して楽しんだり、オンラインでさくらはうすを卒業した方々を結び、お互いの元気な姿を確認するなど、利用者・職員が一緒に楽しむことが出来ました。また、明日都浜大津の会場をお借りして、普段の活動の中で生まれた作品を展示するなど、地域とのつながりが図れる「おまつりはうす」となりました。実行委員のみなさま、お疲れ様でした。びわこ学園後援会からもご支援を賜り、ありがとうございました。

【医療福祉センター草津秋祭り】

今年も感染対策を徹底した中での“秋祭り”となりました。“中止”という考え方よりも“実施するために何をするか”を大切に考え工夫して開催することができました。一年ぶりの家族や関係者との再会に、利用者さんの笑顔や涙があふれる場面も見受けられました。様々な課題がある中、毎年“秋祭り”を開催できるのは、後援会をはじめとする大勢の方々のご理解、ご協力をいただけるからであり、そのお気持ちひとつひとつに感謝しております。

３　施設の「環境充実」への助成

今年度も花壇整備や各施設で利用者の生活や活動が充実するような物品等を購入することに対して助成し、それぞれで活用いただくことができました。

４　びわこ学園主催講座等への事業支援、運営費の助成

医療福祉センター草津および野洲が実施する「公開講座」への事業支援として、開催費を助成しました。また、今年度はオンライン開催された「びわこ学園実践研究発表会」へ同様に助成しました。

５　会員の勧誘

今年度も後援会ニュースと合わせて、不定期ではありましたが、SNSを活用して施設の近況をご紹介してきました。閲覧していただく方が少しずつ増加し、直接的な勧誘はできませんでしたが、継続して取り組むことができました。

◇第３号議案：「令和４年度事業計画」

新型コロナには依然として感染対策を継続させる必要がありますが、**一歩踏み出して「今できることを継続していく」中でも「いのち」の尊さや大切さについて、どのように伝えていくことができるかを検討していきます。**

これまで取り組んできた、後援会ニュースを紙面で配布することだけでなく、ホームページへ掲載して発信することは勿論、SNSを通じたびわこ学園の近況報告等を紹介しながら、びわこ学園後援会の活動主旨にあった情報の発信や情報提供に一層力を入れていきます。

１『びわこ学園後援会ニュース』の発行

今年度も継続して後援会の助成がどのように活用されているかに関する報告やびわこ学園の利用者さんの過ごし等についての記事など掲載し、より広く後援会活動に理解を得られるような紙面づくりを行いながら年３回発行していきます。

２　各施設で開催されるイベントへの参加・助成

医療福祉センター草津秋祭り、センター野洲夏祭り、知的障害児者地域生活支援センターおまつりはうすが開催されれば助成し、開催されない場合には今後展開する新たな活動や助成に活用していきます。

３　施設の「環境充実」への助成

利用者さんの生活や活動が充実するような物品等を購入する場合に助成していきます。

４　びわこ学園主催講座等への事業支援、運営費の助成

イベント同様開催が難しいことを踏まえ、オンライン開催を含め、開催された場合に助成していきます。

５　会員の勧誘

後援会ニュースの掲載内容を充実させながら、インターネットおよびSNSなど多様な広報手段を活用しながら、後援会の活動主旨や事業内容を発信していく中で、会員拡大できるよう活動していきます。

６　後援会特別活動費

冒頭に記載の通り、コロナ禍であっても「いのち」の尊さや大切さについて一緒に考えることができるような企画を検討し、実施していきます。

令和３年度びわこ学園後援会収支決算

（収　入）　（単位：円）

科　目	予算額（A）	決算額（B）	増減（B）－（A）	備　考
会費収入	1,290,000	1,267,000	△ 23,000	当年度分981,000円（263人、322口）　前受け分286,000円（92人、95口）（前年比）+2,000円（当年度分増、前受分減）
寄付金	200,000	650,000	450,000	47人
諸収入	50	57	7	利子
繰越金	6,248,458	6,248,458	0	
収入合計	7,738,508	8,165,515	427,007	

（支　出）　（単位：円）

科　目	予算額（A）	決算額（B）	増減（B）－（A）	備　考
事務費	215,000	104,506	△ 110,494	
会議費	10,000	0	△ 10,000	総会（書面にて実施のため）
印刷製本費	80,000	29,810	△ 50,190	封筒代
通信費	15,000	2,860	△ 12,140	切手代他
人件費	60,000	25,590	△ 34,410	
雑費	50,000	46,246	△ 3,754	振込手数料、残高証明、テープ等
広報事業費	1,260,000	1,027,734	△ 232,266	
啓発事業費	740,000	643,214	△ 96,786	
印刷製本費	300,000	277,200	△ 22,800	後援会ニュース（３回分）
通信費	390,000	365,514	△ 24,486	ニュース送料（２回分）
啓発資料印刷費	0	0	0	
施設祭出店	40,000	0	△ 40,000	
記録映画DVD購入補助金	10,000	500	△ 9,500	1枚分
事業支援費	520,000	384,520	△ 135,480	
実践研究発表会補助	100,000	100,000	0	
（新）地域合同実践報告会補助	30,000	30,000	0	
施設環境充実補助	180,000	154,520	△ 25,480	草津、野洲、びわこ学園障害者支援センター6事業所
公開講座補助	40,000	40,000	0	草津、野洲
講座補助	60,000	0	△ 60,000	
施設イベント補助	110,000	60,000	△ 50,000	野洲夏祭り　野洲学園祭各30,000円（草津秋祭り・知的障害児者地域生活支援センターおまつりはうすは補助なし）
新施設備品購入補助	0	0	0	
後援会新事業	0	0	0	
繰越金	0	7,033,275	7,033,275	
予備費	6,263,508	0	△ 6,263,508	
支出合計	7,738,508	8,165,515	427,007	

当期収支（令和３年度）
収入 ¥1,917,057
支出 ¥1,132,240
収支差額　¥784,817

令和４年度　びわこ学園後援会収支予算

（収　入）　（単位：円）

科　目	前年度決算額（A）	予算額（B）	増減（B）－（A）	備　考
会費収入	1,267,000	1,290,000	23,000	3,000円×430口（前受分含む）
寄付金	650,000	200,000	△ 450,000	
諸収入	57	50	△ 7	利子等
繰越金	6,248,458	7,033,275	784,817	
収入合計	8,165,515	8,523,325	357,810	

（支　出）　（単位：円）

科　目	前年度決算額（A）	予算額（B）	増減（B）－（A）	備　考
事務費	104,506	235,000	130,494	
会議費	0	10,000	10,000	総会、茶話会、役員会他、茶菓子代
印刷製本費	29,810	100,000	70,190	封筒代
通信費	2,860	15,000	12,140	切手代等
人件費	25,590	60,000	34,410	
雑費	46,246	50,000	3,754	振込手数料、残高証明、のり、セロテープ等、宛名ラベル貼付作業
広報事業費	1,027,734	1,070,000	42,266	
啓発事業費	643,214	550,000	△ 93,214	
印刷製本費	277,200	300,000	22,800	後援会ニュース（３回分）@92,400円（税込）*3回
通信費	365,514	200,000	△ 165,514	送料等　今年度は１回後援会　２回学園負担ゆうメール@97*約2,000部
啓発資料印刷費	0	0	0	学園PR資料
施設祭出店	0	40,000	40,000	野洲夏祭り・草津秋祭り各20,000円で出店（開催未定）
記録映画DVD購入補助金	500	10,000	9,500	夜明け前500*10枚　わたしの季節500*10枚
事業支援費	384,520	520,000	135,480	
実践研究発表会補助	100,000	100,000	0	
地域合同実践報告会補助	30,000	30,000	0	
施設環境充実補助	154,520	180,000	25,480	草津　野洲　各50,000円、びわこ学園障害者支援センター【えがお・さんさん・たいよう・かなえ・ピアーズ・ともる・えまい・ちょこらんど　各8,000円】知的障害児者地域生活支援センター【さくらはうす・ひまわりはうす　各8,000円】
公開講座補助	40,000	40,000	0	
講座補助	0	60,000	60,000	開催未定（２講座⇒３講座）
施設イベント補助	60,000	110,000	50,000	野洲夏祭り・草津秋祭り・野洲学園祭各30,000円 知的障害児者地域生活支援センターおまつりはうす20,000円開催未定
新施設備品購入補助	0	0	0	
後援会特別活動費	0	350,000	350,000	新型コロナ禍での障害者理解・啓発活動
予備費	0	6,868,325		
繰越金	7,033,275	0		
支出合計	8,165,515	8,523,325		

当期収支（令和４年度）
収入　1,490,050
支出　1,655,000
収支差額　－164,950

慧眼温顔

「人財を育てる」

滋賀県監査委員
奥（おく）　博（ひろし）
（びわこ学園　評議員）

私が平成27年６月、公益財団法人糸賀一雄記念財団の理事に就任して以来７年が経過します。

この間、「津久井やまゆり園」で痛ましい事件が発生したことから、糸賀一雄記念財団では平成30年度から厚生労働省の「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」を受託し、障害福祉従事者や事業経営者等が共生社会の基本理念等を学び、それを実践につなげていくよう全国で共生社会フォーラム研修事業を開催しています。併せて、この研修の実施を通じて、共生社会の基本理念を福祉現場や地域で語り広めることができる「福祉支援語り部」を確保・育成する事業に取り組んでいます。まだまだ道半ばであることから、今後は福祉以外の分野（教育や経済界等）においても、そのリーダー人財の育成を図るよう力を入れて取り組もうとしています。

そのような流れの中にあって、事業経営者は今や事業活動の中心にSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを置き、環境への配慮、自然との共生や地域とのつながり、多様な人財の活躍といった分野など各社独自に重点項目を決め、数値目標を設定するなどして、その達成に向けた取り組みを始めています。中でも多様な人財の活躍ということにもつながる「人権」については一番重視していると感じています。

ある会社の事例ですが障害をお持ちの方が入社されてすぐの頃は、当然同じように作業が出来ず、指導を繰り返し受けても時間がかかり生産性の低さから周りの従業員より苦情や不満が溢れていたようです。しかし、月日が経過して次第に障害のある方と接すること、共に働けることによって、これまで「他人と比較して」の自己評価による働き甲斐であったものが、程度の差はあっても障害をお持ちの方と同様に「昨日より今日の成長」が働き甲斐生き甲斐につながるなど「新しい価値観」が生まれ、会社にとってプラス効果が出て来ていると聞きました。

正にその価値観に経営者も従業員も気付けるかどうかが重要なポイントであり、その先に真に多様な「人財」の活躍が見えてくると考えています。

障害福祉の分野も教育や経済界などの分野も全ての人が障害の有無に関わらず基本的人権を享有する個人としてその「尊厳」が重んぜられるところに『本当の幸せ』があるものと信じ、びわこ学園の皆様とともに歩ませて頂きたいと思います。どうか今後ともお付き合いをよろしくお願いします。

（おくひろし）

奥さんは、令和３年６月からびわこ学園評議員に就任されています。糸賀一雄記念財団でも長く理事を務めておられ、「共生社会の基本理念」を広げる活動や多様な人財の活躍、障害をもたれた方がたとともに生きる「新しい価値観」の気づきなど、私たちがこれまで取り組んできたびわこ学園事業の応援や、障害に関する理解や啓発などの活動に共通していることを、今回投稿いただき改めて感じています。今後ともよろしくお願いいたします。

（びわこ学園後援会事務局）

びわこ学園後援会では会員を募集しています！

びわこ学園後援会は「この子らを世の光に」という理念のもと、重い障害を持たれている方がたへ支援しているびわこ学園の事業支援や事業理解をより多くの方に拡げていくことを目的に活動しています。

この活動趣旨をご理解いただき、ご賛同いただける方を募集しています。

ご入会していただくと

- ●びわこ学園後援会ニュース、びわこ学園だよりを送付します（年３回）。
- ●びわこ学園記録映画「夜明け前の子どもたち」「わたしの季節」のDVDを販売価格から一割引き（￥5,000⇒￥4,500）で購入できます。

会費

個人：3,000円　　法人・団体：30,000円（年一口）

ご入会の手続きについて

下の振込取扱票を切り取っていただき、必要事項をご記入の上、郵便局で手続きをお願いします。（手数料は無料です。）

また、振込取扱票が無い場合は、直接事務局宛にご請求下さるか郵便局に備え付けの振替用紙に以下をご記入の上、手続きをお願いします。

（口座番号　01080　2　9958　社会福祉法人　びわこ学園後援会）

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

02　大　阪

払　込　取　扱　票

通常払込料金加入者負担

口座番号	0	1	0	8	0	2				9	9	5	8

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
	※							

加入者名　社会福祉法人　びわこ学園後援会

料金　　備考

通信欄　※

1．びわこ学園後援会会費　　年度　　口　　円

2．びわこ学園後援会寄付金　　円

紹介者

ご依頼人　※（〒　　－　　）

おところ

おなまえ

（電話　　－　　－　　）

日附印

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号京第2567号）

これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その個所に訂正印を押してください。

口座番号	0	1	0	8	0	2				9	9	5	8	通常払込料金加入者負担

加入者名　社会福祉法人　びわこ学園後援会

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
	※							

ご依頼人　おなまえ　※

料金　　日附印

備考

この受領証は、大切に保管してください。

みなさま、いつもありがとうございます

後援会会費納入者ご芳名

★ 2021年11月１日～2022年３月31日受付分（敬称略、順不同）

[2021年度分会費]

山中由美子　飯塚　勝邦　飯塚　昭子　藤田　智
田辺　久子　井上　匡美　森野　才治　塩見みゆき
池田　花子　加納　久男　谷口　吉忠　谷口嘉代子
山本　朝美　服部　章　西村　隆宏　洞　正子
二宮　博之　田附　早苗　小中　稔治　松田　徹
角田　憲隆　今村とも子　杉原智加子

[2022年度分会費]

竹本　利美　仙田　和子　若林　秀行　福川百合子
田辺　久子　井上　匡美　小島　弘之　宮本　英夫
永﨑　久雄　服部　由美　川瀬　源信　川瀬とし江
塩見みゆき　堂本　睦子　市原　邦雄　村上　陽子
高塩　文江　鈴木　順子　村田　甫子　池内みさ子
小川　緑　山中由美子　大槻　敏明　河合　隆平
秋山　未伊　公門城正臣　小西　靖子　角熊　欣也
竹原　智也　須藤　正之　田中　洋子　小林　冴子
郷原　礼子　山本　朝美　前田　容子　珠玖紀代子
竹林美友紀　西河　正勝　孤渓佳世子　峰島　厚
大虫　里美　金野　光章　川尻　良治　若林　登子
横田　正　山﨑　裕通　池内　政一　櫛田　和義
櫛田美香子　山﨑正策・有子

[2023年度分会費]

池元　智子　田辺　久子　永﨑　久雄　村木　弘富
柴田　操　堂本　睦子

[2025年度分会費]

谷川　睦弓

後援会寄付金納入者ご芳名

★ 2021年11月１日～2022年３月31日受付分（敬称略、順不同）

川口　東洋　竹内　鉄雄　福川百合子　若杉　朗代
高塩　文江　千代　謙治　野呂　淑子　斉藤　惇生
宗友　良憲　須藤　正之　山本　朝美　粟津　順子
大虫　里美　内海　茂子　井本　剛司
大阪保育福祉専門学校　野洲赤十字奉仕団

後援会会費・寄付金納入者累計

		区　分	当期受付分	累　計
会費	2021年度分	会員数	23 人	263 人
		口　数	38 口	322 口
		金　額	116,000 円	981,000 円
	2022年度分	会員数	50 人	85 人
		口　数	53 口	91 口
		金　額	160,000 円	275,000 円
	2023年度分	会員数	6 人	9 人
		口　数	6 口	9 口
		金　額	18,000 円	27,000 円
	2024年度分～2026年度分	会員数	1 人	5 人
		口　数	1 口	5 口
		金　額	5,000 円	17,000 円

後援会寄付金	区　分	当期受付分	累　計
	会員数	18 人	47 人
	金　額	138,000 円	650,000 円

編集後記

今年もセンター野洲では、青々とたくさんの草が生い茂ってきました。ここ数年、管理棟職員での草刈りが恒例のイベントとなっており､皆で汗だくになりながらも、草刈り後の何ともいえない達成感と清々しさを共有しています。（意外とみんな草刈りすきだよね、と個人的には思っております。）野洲の敷地は広いため、このように草刈り好きの職員で数日頑張っても、次から次へと生えてくる草との追いかけっこに勝利することはできません。そんな中、地道に少しずつ草刈りをして下さるのが草刈りボランティアさんです。コロナ禍で、ボランティアをお断りしていた時期もありましたが、今は全開で力をおかりしています。一見、地味でしんどそうなイメージを抱いてしまう「草刈り」ですが、草刈りを通じて、たくさんの方とつながっていると感じます。今後も色々な活動を通して、職員同士、職員とボランティアさんとのつながりを大切にしたいと思います。

最後になりましたが、今年度より編集担当が大津のTから野洲のTにかわりました。不慣れなため、周囲の方に教えて頂きながら頑張りますので、よろしくお願いいたします。（T）

（ご注意）
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
5万円以上
貼　付

印

この場所には、何も記載しないでください。